

MULCOS-2 評価版サンプル



MULCOS-2の3つの機能をご覧になれます。μITRON側には下記の3種類のタスクを待ち状態にしており、それぞれLinux側から待ちを解除します。

・システム情報の確認タスク

Linuxがセマフォを返却し、セマフォ待ちを解除した確認タスクは、メッセージキューで各種システム情報をLinuxに渡す。Linuxは受け取ったメッセージをコンソールに表示する。

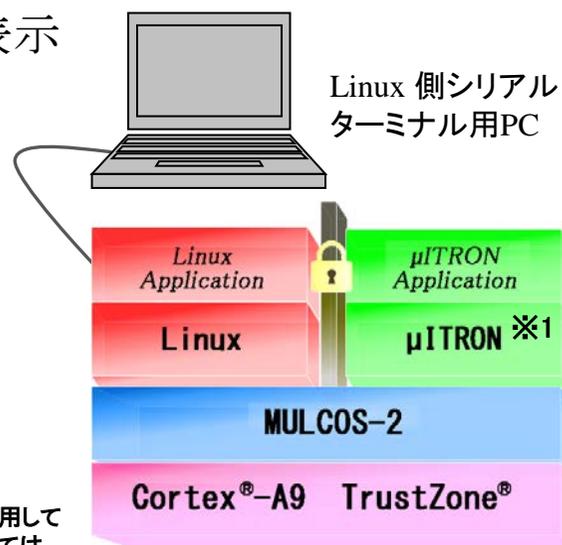
・システム時刻の表示タスク

Linuxからイベントフラグに割り当てたタート・ビット/ストップ・ビットをセットする。表示タスクはスタート・ビットの待ち解除からストップ・ビットの待ち解除まで、1秒置きにメッセージキューでシステム時刻をLinuxに渡す。Linuxは受け取ったメッセージをコンソールに表示する。

・LEDの制御タスク

LinuxからLEDの点灯パターンを指定し、メッセージキューでそのデータを制御タスクに渡す。制御タスクは指定されたパターンにしたがってON/OFFを制御する。

※1
サンプルでは独自仕様のRTOSを使用しています。使用できるμITRONについては、お問い合わせください。



評価版システム構成図

ALTERA Cyclone V SoC 搭載 SA-Cy500Sボード

- ・ ARM Cortex-A9 シングルコア
- ・ CPUクロック最大 600MHz



株式会社アルファプロジェクト製